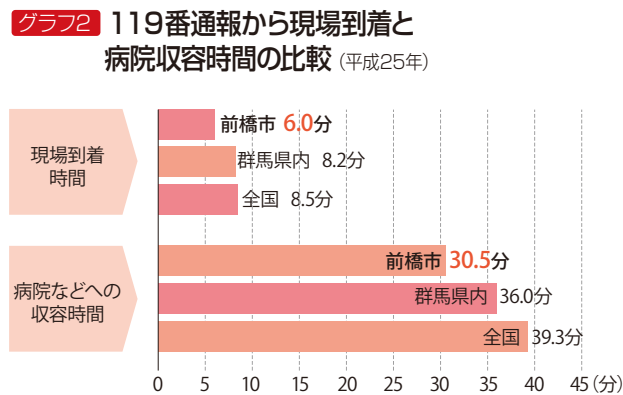




「命」を守る現場

「119番」。それは、命を守る電話。前橋市では、市民の皆さんの命を守り、安心して暮らしてもらうため、さまざまな取り組みを行っています。ここでは、その中で前橋市の救急についての取り組みを紹介します。

問い合わせは 消防局警防課 ☎027-220-4513

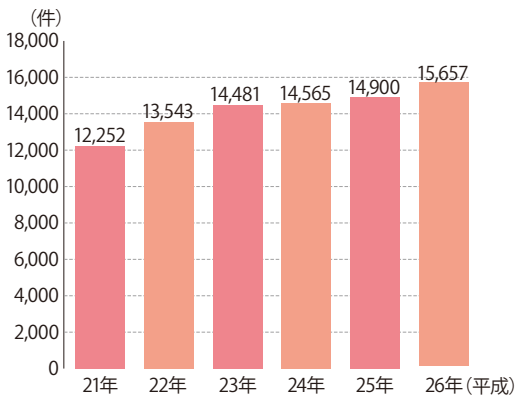
1秒でも早く現場へ医療機関へ

前橋市内の救急出動件数は年々増加（グラフ1）。全国的にも同様の傾向です。出動件数の増加は、素早い救急搬送を妨げる結果になってしまっています。そんな中でも前橋市では、いち早く救急搬送ができるよう取り組んでいます。

119番の救急通報を受けてから現場に向かい、いち早く病院などに搬送することは、急病人や負傷者などの命を救うために欠かせません。前橋市の救急搬送は、県内や全国の平均と比べて、より短時間で現場に到着（グラフ2）。

急病人などの症状を迅速に観察し、生命に危険があると判断した場合に

グラフ1 前橋市の救急年別出動件数の推移



は、すぐに医師の指示を受けて救命処置を行い、救命率の向上を図っています。また、タブレット端末を活用して早期に医療機関を選定することで、病院などへの搬送までの時間



119番通報は、慌てずしっかり伝えることが重要。通報の仕方を動画で紹介します。

スマートフォンからのアクセスは右記の二次元コードを読み取ってください。

YouTube <http://youtu.be/hpyBvTEnV3c>



を短縮（グラフ2）。市民の皆さんの命を守っています。

命を守るために日々訓練

いち早く現場に到着し、病院などに搬送するには、日々の訓練は欠かせません。前橋市では、急病人や負傷者などをスムーズに搬送するために、さまざまなケースを想定して、訓練を実施。また、事例検討会や救急隊長会議を行い、一刻を争うような状況に対応できるように備えていることが、より早い搬送につながっています。

消防隊などと連携して救護

急病人などが重傷で、救急隊（3人）のみでは迅速に対応できないときや、救急車の到着が遅れることが予想される場合には、消防車が出動して救護連携活動を実施（PA連携）。いち早い救護を目指しています。そのため救急車よりも先に消防車が到着し、皆さんの命を守るために活動する場合もあります。

また、救命が必要であると判断した場合には、一刻も早い医師の治療が必要で、ドクターヘリやドクターカーを活用し、早期医療介入による救命率の向上と後遺症の軽減が図れるよう連携しています。

現場の声

さらに連携を深めたい

救命救急の現場では、1分の違いが、救命率や回復後の後遺症の状況に大きく影響します。ドクターヘリやドクターカーなどで、前橋市とさらに連携を深め、1人でも多くの人の命を救うことができると考えています。



中野 実さん
前橋赤十字病院
高度救命救急センター長

まずはその場での応急手当て

命を守るには、早期の救急搬送も重要ですが、それと併せて重要なのが、現場でのAEDの使用を含む心肺蘇生などの応急手当て。また、いかに早く119番通報をするかが重要です。救急車は119番通報途中でも、ある程度の現場が分かれば先に出勤。落ち着いて急病人などの症状を伝えてください。

早期搬送のため努力

救命率を向上させるには、現場で急病人などの状態を観察し、素早く必要な処置をして早期に搬送することが必要。そのため、日々訓練をしています。私たちは1分、1秒を大切に救急活動に取り組んでいます。



金澤 正幸
中央消防署第二中隊救急隊
救急隊長

なお、救急車が現場に到着する前に、その場にいる人に応急手当てをお願いする場合があります。これは、急病人などの命を守るためにお願いするもの。慌てずに、119番の担当者の話を聞いて、応急手当てに協力してください。

そのため、いざというときに応急手当てが行えるように、救命講習会などに参加し、日ごろから備えておくことも大切です。